

観 察 表

図版番号 名称 使用地 (資料番号)	形態・材質
3 オリコ 三崎町与修 (48)	<ul style="list-style-type: none">・ 卷袖。子ども用。・ 袖は裂織り布で作る。トモソデと呼ばれる。赤紫を基調とした色あい。・ 経糸の材質は木綿、藍紫色。・ 経糸の本数 (身頃のみ) は 1 cm 四方に 7 ~ 8 本、総数は約 161 ~ 184 本。・ 緯糸の材質は裂いた古木綿布、1 cm 四方に 4 ~ 5 本、1 段の幅 1 ~ 2 mm。・ 身頃は織目が細かく、天鷲絨色を基調とした色あい。・ 裾の色は身頃と同じ。・ 馬のりがあいていない。・ 縫い方は突き合わせはぎ (背)、突き合わせはぎ (脇)、三つ折り縫い (裾)。・ 身頃の縫い糸は黒の木綿糸。・ 衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、黒の木綿布をかける。・ 肩に木綿の布をあてる。・ 覆輪は黒の木綿糸を袖口、衿下につけている。・ 身丈 69.0、ゆき 47.8、袖幅 23.0、袖口 10.7、袖丈 32.0、身頃幅 23.0 cm。・ 重さ 490 g。
4 オリコ 三崎町与修 (47)	<ul style="list-style-type: none">・ 子ども用。・ 筒袖。袖の仕立ては裕。・ 袖の材質は緋木綿、格子縞 (黒地に紅消鼠)。裏地は緋 (縞) 木綿。・ 経糸の材質は木綿、黒色。・ 経糸の本数は 1 cm 四方に 8 本、総数は約 146 本。・ 緯糸の材質は裂いた古木綿布、1 cm 四方に 4 ~ 5 本、1 段の幅 1 ~ 2 mm。・ 身頃は織目が細かく、栗梅色を基調とし、黒、勝色のまばらな横縞模様。・ 裾の色は身頃と同じ。・ 馬のりがあいていない。・ 縫い方はかがり縫い (背)、かがり縫い (脇)、三つ折り縫い (裾)。・ 身頃の縫い糸は黒の木綿糸。・ 衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、黒の木綿布をかける。・ 肩に縞の木綿布をあてる。・ 覆輪は黒の木綿布を衿下につけている。・ 首下の身頃が破損している。・ 身丈 54.0、ゆき 41.0、袖幅 23.2、袖口 13.4、袖丈 20.3、身頃幅 18.2 cm。・ 重さ 282 g。
5 ツツレ 三崎町名取 (7)	<ul style="list-style-type: none">・ 卷袖。袖の仕立ては裕。袖下を折っている。・ 袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。裏地は緋木綿。・ 経糸の材質は木綿、紺、花、秘色。・ 経糸の本数は 1 cm 四方に 8 本、総数は約 206 本。・ 緯糸の材質は裂いた古木綿布。1 cm 四方に 3 ~ 4 本、1 段の幅 2 ~ 3 mm。・ 身頃は紺と秘色の縦縞模様。・ 裾の色は白地に縦縞。裾の裏を白木綿で補強している。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ (背)、千鳥がけ (脇)、布を当てて伏せ縫い (裾)。
- ・身頃の縫い糸は黒の木綿糸 (背、脇)、白の木綿糸 (裾)。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に紺の木綿布をあてる。袖の裏地と同一のもの。
- ・覆輪は黒の木綿布を袖口、衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈75.0、ゆき59.0、袖幅33.1、袖口15.0、袖丈39.9、身頃幅25.7cm。
- ・重さ912g。

6 ツツレ
三崎町名取 (10)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。裏地は縞木綿。
- ・経糸の材質は木綿、青木賊色。染めむらあり。
- ・経糸の本数は1cm四方に8本、総数は約196本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に4～5本、1段の幅2～4mm。
- ・身頃は全体的に青木賊色を基調とした色あいで、黒、紺色の横縞模様が見られる。
- ・身頃に青木賊色の縦縞が入っている。
- ・裾の色は白、青練色。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ (背)、千鳥がけ (脇)、まつりぐけ (裾)。
- ・身頃の縫い糸は黒の木綿糸 (背、脇)、白の木綿糸 (裾)。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に木綿の布 (手ぬぐいか) をあてる。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈78.5、ゆき55.6、袖幅33.0、袖口13.7、袖丈44.0、身頃幅24.4cm。
- ・重さ892g。

7 ツツレ
三崎町名取 (39)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。
- ・袖の材質は花浅葱色の木綿の無地、藍染め。裏地は紺木綿。左袖下が破損している。
- ・経糸の材質は木綿、薄花白色。
- ・経糸の本数は1cm四方に7本、総数は約182本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に3～4本、1段の幅2～3mm。
- ・身頃は織目が細かく、薄藤、灰白、紺青、純色などのまばらな横縞模様。
- ・裾の色は白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ (背)、千鳥がけ (脇)、三つ折り縫い (前裾)、三つ折り縫い・千鳥がけ (後裾)。
- ・身頃の縫い糸は黒緑の木綿糸 (背、脇)、白の木綿糸 (裾)。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、花浅葱色の木綿布をかける。
- ・肩に縞の木綿布をあてる。袖の裏地と同一のもの。
- ・覆輪は衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈81.3、ゆき59.7、袖幅32.5、袖口17.0、袖丈38.5、身頃幅26.0cm。
- ・重さ966g。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

8 ツツレ

三崎町名取 (9)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。袖下を折っている。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。
- ・経糸の材質は木綿、鉛色。
- ・経糸の本数は1cm四方に8～9本、総数は約212～238本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に3～4本、1段の幅2～3mm。
- ・身頃は紺、黒、紅消鼠、鉛色などによる不規則な横縞模様。
- ・裾の色は純白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、千鳥がけ(脇)、三つ折り縫い・千鳥がけ(裾)。
- ・身頃の縫い糸は黒の木綿糸(背)、黒と白の木綿糸(脇)、黒と白の木綿糸(裾)。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に紺の木綿布をあてる。
- ・肩あてと同じ布を緯糸の一部に入れている。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈79.8、ゆき60.0、袖幅33.0、袖口16.6、袖丈39.3、身頃幅26.5cm。
- ・重さ934g。

9 ツツレ

三崎町名取 (42)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。袖下を折っている。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。裏地は格子木綿。
- ・経糸の材質は木綿、空色。
- ・経糸の本数は1cm四方に8～9本、総数は約197～221本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に3～4本、1段の幅2～3mm。
- ・身頃は織目が細かく、空色を基調とした色あい。縦縞が入っている。
- ・裾の色は白地に紺の紺の断片が見られる。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、千鳥がけ(脇)、三つ折り縫い・千鳥がけ(裾)。
- ・身頃の縫い糸は黒の木綿糸(背、脇)、黒と白の木綿糸(裾)。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に紺木綿の布をあてる。
- ・覆輪は紺木綿の布を袖口、衿下、背裾、馬のりにつけている。
- ・身丈83.0、ゆき57.0、袖幅33.0、袖口16.5、袖丈40.3、身頃幅24.6cm。
- ・重さ936g。

10 ツツレ

三崎町名取 (6)

- ・袖なし。
- ・経糸の材質は木綿、老緑色。
- ・経糸の本数は1cm四方に8～9本、総数は約164～184本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布。1cm四方に3～4本、1段の幅2～3mm。
- ・身頃は紺と黒を基調とした不規則な横縞模様、苦色、空色、白色、紺の赤や緑の断片が見られる。
- ・裾の色は白。空色の断片が見られる。
- ・馬のりがあいている。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

- ・縫い方は突き合わせはぎ(背)、かがり縫い(脇)、まつりぐけ(前裾)、三つ折りぐけ(後裾)。
- ・身頃の縫い糸は黒の木綿糸(背、脇)、白の木綿糸(裾)。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に紺の木綿布をあてる。
- ・覆輪は紺の木綿布を袖口、衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈70.4、脇あき39.0、身頃幅20.5cm。
- ・重さ668g。

11 ツツレ
三崎町名取 (8)

- ・袖なし。
- ・経糸の材質は木綿、白、紺、黒、空色。
- ・経糸の本数は1cm四方に8本、総数は約200本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に4～5本、1段の幅2～3mm。
- ・身頃は紺を基調とした色あい。
- ・裾の色は紺地に白の紺の断片が見られる。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、千鳥がけ(脇)、三つ折りぐけ(裾)。
- ・身頃の縫い糸は紺の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は、紺の木綿布を衿下、背裾、馬のりにつけている。
- ・身頃の表裏をつかえて、袖をはずして、袖なしに仕立て直したものか。
- ・身丈83.5、脇あき25.7、身頃幅25.0cm。
- ・重さ808g。

12 ツツレ
三崎町名取 (40)

- ・袖なし。
- ・経糸の材質は木綿、藍紫色。
- ・経糸の本数は1cm四方に8～9本、総数は約202～228本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に3～4本、1段の幅2～3mm。
- ・身頃は織目が細かく、岩井茶、青藍、黒、紅消鼠色などのまばらな横縞模様。
- ・裾の色は白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、千鳥がけ(脇)、三つ折り縫い・まつりぐけ(裾)。
- ・身頃の縫い糸は黒の木綿糸(背、脇)、白の木綿糸(裾)。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に縞木綿の布をあてる。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下、縞木綿の布を馬のりにつけている。
- ・袖をはずして袖なしに代用したものか。
- ・身丈76.7、脇あき42.5、身頃幅25.3cm。
- ・重さ774g。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

13 ツツレ

三崎町釜木 (17)

- ・ 卷袖。袖の仕立ては裕。袖下を折っている。
- ・ 袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。
- ・ 経糸の材質は木綿、白色。
- ・ 経糸の本数は1cm四方に8～9本、総数は約200～226本。
- ・ 緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に3～4本、1段の幅2～3mm。
- ・ 身頃は織目が細かく、紺と黒色を基調とした横縞模様で、紺の白色の断片が見られる。
- ・ 裾の色は純白。
- ・ 馬のりがあいている。
- ・ 縫い方は千鳥がけ (背)、半返し縫い (脇)、三つ折りぐけ (裾)。
- ・ 身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・ 衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・ 肩に紺の木綿布をあてる。
- ・ 覆輪は紺の木綿布を衿下、馬のりにつけている。
- ・ 身丈79.3、ゆき57.9、袖幅33.4、袖口14.7、袖丈40.6、身頃幅25.1cm。
- ・ 重さ1030g。

14 ツツレ

三崎町釜木 (19)

- ・ 卷袖。袖の仕立ては裕。
- ・ 袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。裏地は縞木綿。
- ・ 経糸の材質は木綿、白色。
- ・ 経糸の本数は1cm四方に8本、総数は約196本。
- ・ 緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に4～5本、1段の幅1～3mm。
- ・ 身頃は織目が細かく、紺色を基調とした色あい。
- ・ 裾の色は純白。
- ・ 馬のりがあいている。
- ・ 縫い方はかがり縫い (背)、半返し縫い (脇)、三つ折り縫い (裾)。
- ・ 身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・ 衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・ 肩あてなし。
- ・ 覆輪は紺の木綿布を衿下、馬のりにつけている。
- ・ 身丈75.7、ゆき56.4、袖幅31.0、袖口15.3、袖丈42.7、身頃幅24.5cm。
- ・ 重さ858g。

15 ツツレ

三崎町釜木 (21)

- ・ 卷袖。袖の仕立ては裕。
- ・ 袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。裏地は縞木綿。
- ・ 経糸の材質は木綿、白色。
- ・ 経糸の本数は1cm四方に8本、総数は約218本。
- ・ 緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に4～5本、1段の幅2～3mm。
- ・ 身頃は織目が細かく、藤紫、黒、紺、花色などのまばらな横縞模様。
- ・ 身頃に白の縦縞が入っている。
- ・ 裾の色は純白、丈が長い。馬のりがあいている。
- ・ 縫い方は千鳥がけ (背)、千鳥がけ (脇)、三つ折りぐけ (裾)。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

- ・身頃の縫い糸は紺の木綿糸。裾部分の背と脇は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に縞木綿の布をあてる。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈83.9、ゆき57.9、袖幅30.3、袖口15.0、袖丈43.4、身頃幅27.3cm。
- ・重さ1020g。

16 ツツレ
三崎町釜木 (18)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。袖下を折っている。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1cm四方に9本、総数は約232本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に4～5本、1段の幅1～3mm。
- ・身頃は織目が細かく、紺と黒色を基調とした横縞模様で、紺の白色の断片が見られる。
- ・裾の色は純白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、突き合わせはぎ(脇)、三つ折り縫い・千鳥がけ(裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に縞木綿の布をあてる。
- ・覆輪は紺の木綿布を袖口、衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈85.6、ゆき60.4、袖幅34.0、袖口16.0、袖丈36.1、身頃幅25.7cm。
- ・重さ986g。

17 ツツレ
三崎町釜木 (20)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1cm四方に8本、総数は約206本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に4本、1段の幅1～2mm。
- ・身頃は織目が細かく、紺と黒色を基調とした横縞模様で、白や赤紫色の布の断片が見られる。
- ・裾の色は純白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、半返し縫い(脇)、三つ折りぐけ(裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に紺の木綿布をあてる。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈76.2、ゆき59.5、袖幅33.5、袖口15.4、袖丈46.5、身頃幅25.7cm。
- ・重さ938g。

18 オリコ
三崎町二名津 (37)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。
- ・袖の材質は紺木綿(幾何紺)。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

- ・ 経糸の材質は木綿、青藍、銀鼠色。
- ・ 経糸の本数は1 cm四方に7～8本、総数は約152～174本。
- ・ 緯糸の材質は裂いた古木綿布、1 cm四方に3～4本、1段の幅2～4 mm。
- ・ 身頃は灰色を基調とした色あい、両端に青藍色の縦縞が見られる。
- ・ 身頃の前と後をつけかえている。
- ・ 裾の色は白。
- ・ 馬のりがあいている。
- ・ 縫い方はかがり縫い (背)、かがり縫い (脇)、三つ折りぐけ・縁どり (裾)。
- ・ 身頃の縫い糸は黒の木綿糸。
- ・ 衿はかけ衿。左衿の下部分は別布。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・ 肩に藍湊色の木綿の布をあてる。
- ・ 覆輪は黒の木綿布を衿下、裾、馬のりにつけている。
- ・ 衿、右肩、肩あてなど全体的に傷んでいる。着古して、生地がやわらかくなっている。
- ・ 身丈80.5、ゆき54.5、袖幅31.7、袖口15.7、袖丈43.7、身頃幅21.7cm。
- ・ 重さ790 g。

19 オリコ
三崎町二名津 (36)

- ・ 巻袖。袖の仕立ては裕。
- ・ 袖の材質は緋木綿 (幾何緋)、裏地は縞木綿。
- ・ 経糸の材質は木綿、藍紫色。
- ・ 経糸の本数は1 cm四方に7～8本、総数は約154～176本。
- ・ 緯糸の材質は裂いた古木綿布、1 cm四方に2～4本、1段の幅2～4 mm。
- ・ 身頃は紺青、花色を基調とした色あい。身頃のほりかえをしている。
- ・ 裾の色は白。
- ・ 馬のりがあいている。
- ・ 縫い方は千鳥がけ (背)、千鳥がけ (脇)、縁どり (裾)。
- ・ 身頃の縫い糸は裾部分が白の木綿糸、裾以外は黒の木綿糸。
- ・ 衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・ 肩に水色の木綿布をあてる。
- ・ 覆輪は紺の木綿布を衿下、裾、馬のりにつけ、一部、補修している。
- ・ 身頃に継ぎあて、刺し糸による補修跡あり。着古している。
- ・ 身丈74.0、ゆき57.0、袖幅33.5、袖口13.7、袖丈44.0、身頃幅22.0cm。
- ・ 重さ794 g。

20 オリコ
三崎町二名津 (38)

- ・ 袖なし。
- ・ 経糸の材質は木綿、青藍、路考茶、白色。
- ・ 経糸の本数は1 cm四方に7～8本、総数は約140～160本。
- ・ 緯糸の材質は裂いた古木綿布、1 cm四方に3～4本、1段の幅2～3 mm。
- ・ 身頃は青藍、花、空色を基調とした色あい。
- ・ 裾の色は身頃と同じ。
- ・ 馬のりがあいている。
- ・ 縫い方はかがり縫い (背)、かがり縫い (脇)、布をあてて伏せ縫い (裾)。

図版番号 名称

形態・材質

使用地（資料番号）

- ・身頃の縫い糸は黒の木綿糸（背、脇）、白の木綿糸（裾）。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩、背から腰にかけて白い木綿布をあてる。
- ・首のまわりの衿や、肩あてなど傷んでいる。着古している。
- ・覆輪は紺の木綿布を袖口、衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈74.4、脇あき37.8、身頃幅20.0cm。
- ・重さ630g。

21 ツツレ

三崎町平磯（41）

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。裏地は縞木綿。
- ・経糸の材質は麻、白茶色。
- ・経糸の本数は1cm四方に8本、総数は約230本。つなぎ目が多い。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に2～3本、1段の幅2～5mm。
- ・身頃は織目が粗く、白茶色を基調とした色あい。縦縞が入っている。
- ・裾の色は身頃と同じ。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方はかがり縫い（背）、かがり縫い（脇）、まつりぐけ（裾）。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に木綿の布をあてる。
- ・覆輪は縞木綿の布を袖口、衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈78.5、ゆき57.7、袖幅30.0、袖口14.5、袖丈42.0、身頃幅28.7cm。
- ・重さ1004g。

22 ツツレ

三崎町平磯（26）

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。裏地は縞木綿。
- ・経糸の材質は麻、白茶色。
- ・経糸の本数は1cm四方に7～8本、総数は約188～215本。つなぎ目が多い。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に2～3本、1段の幅2～5mm。
- ・身頃は織目が粗く、全体的に紺色を基調とした色あい。縦縞が入っている。
- ・裾の色は身頃と同じ。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方はかがり縫い（背）、かがり縫い（脇）、三つ折り縫い・まつりぐけ（裾）。
- ・身頃の縫い糸は紺の木綿糸（背）、白の木綿糸（脇、裾）。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に紺の木綿布をあてる。
- ・覆輪は縞木綿の布を衿下、馬のりにつけている。
- ・身頃に肩あての縫糸が目立つ。
- ・身丈92.5、ゆき59.3、袖幅34.9、袖口15.4、袖丈47.4、身頃幅26.9cm。
- ・重さ938g。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

23 ツツレ

三崎町平磯 (22)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。身八口あり。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。
- ・経糸の材質は麻、白茶色。
- ・経糸の本数は1cm四方に7本、総数は約192本。つなぎ目が多い。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に2～3本、1段の幅2～4mm。
- ・身頃は織目が粗く、紺、白茶色を基調とした色あい。
- ・裾の色は身頃と同じ。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、半返し縫い(脇)、三つ折り縫い・まつりぐけ(裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に紺の木綿布をあてる。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈84.9、ゆき59.2、袖幅33.3、袖口16.2、袖丈45.9、身頃幅27.5cm。
- ・重さ1162g。

24 ツツレ

三崎町平磯 (25)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。身八口がある。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。
- ・経糸の材質は麻、白茶色。
- ・経糸の本数は1cm四方に7本、総数は約211本。つなぎ目が多い。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cmに2～3本、1段の幅3～5mm。つなぎ目が太い。
- ・身頃は織目が粗く、全体的に白茶色を基調とした色あい。一部に紺と花浅葱色のまばらな横縞が見られる。
- ・裾の色は身頃と同じ。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、かがり縫い(脇)、三つ折り縫い(裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に中藍色の木綿布をあてる。
- ・覆輪は紺木綿布を衿下に、紺の木綿布を馬のりにつけている。
- ・身頃に肩あての縫糸が目立つ。
- ・身丈84.5、ゆき60.3、袖幅31.5、袖口16.5、袖丈46.1、身頃幅30.1cm。
- ・重さ1172g。

25 ツツレ

三崎町平磯 (23)

- ・袖なし。
- ・経糸の材質は麻、白茶色。
- ・経糸の本数は1cm四方に7本、総数は約182本。つなぎ目が多い。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に2～3本、1段の幅2～4mm。
- ・身頃は織目が粗く、白茶色を基調とし、左身頃には紺色系のまばらな横縞模様がある。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

- ・裾の色は白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ (背)、半返し縫い (脇)、三つ折り縫い (裾)。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に縞の木綿布をあてる。
- ・覆輪は紺の木綿布を袖口、衿下、馬のりにつけている。
- ・身頃に肩あての縫糸が目立つ。
- ・身丈66.5、脇あき32.5、身頃幅26.0cm。
- ・重さ744g。

26 ツツレ
三崎町平磯 (24)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。裏地は縞木綿。
- ・経糸の材質は麻、白茶色。
- ・経糸の本数は1cm四方に7本、総数は約203本。つなぎ目が多い。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に2~3本、1段の幅3~5mm。つなぎ目が太い。
- ・身頃は織目が粗く、白茶色を基調とした色あい。縦縞が入っている。
- ・裾の色は白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ (背)、半返し縫い (脇)、まつりぐけ (裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に紺の木綿布をあてる。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈83.4、ゆき62.5、袖幅34.9、袖口26.2、袖丈46.1、身頃幅29.0cm。
- ・重さ1176g。

27 ツツレ
三崎町平磯 (53)

- ・袖なし。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1cm四方に7本、総数は約168本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に3~4本、1段の幅2~3mm。
- ・身頃は織目が細かく、長年の使用からか、紺地がほとんど白くなっている。
- ・裾の色は薄紺。当初は白色。
- ・馬のりがあいていない。
- ・縫い方は千鳥がけ (背)、半返し縫い (脇)、まつりぐけ (裾)。
- ・裾を内側にかなり折り込んでくけている。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に紺の木綿布をあてている。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下につけている。破損している。
- ・身頃 (肩、背、裾部分) に刺し糸、継ぎあてをして修繕、補強をしている。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

- ・身丈68.0、脇あき38.0、身頃幅24.0cm。
 - ・重さ648g。
- 28 ツツレ
三崎町平磯 (54)
- ・巻袖。袖の仕立ては裕。身八口がある。
 - ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。裏地は薄茶の木綿。
 - ・経糸の材質は木綿、白色。
 - ・経糸の本数は1cm四方に7～8本、総数は約187～214本。
 - ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に3～4本、1段の幅2～4mm。
 - ・身頃は紺の木綿布を用い胸や肩部分に大きな継ぎあてがある。縦縞が入っている。
 - ・裾の色は白。汚れて黒ずんでいる。
 - ・馬のりがあいている。
 - ・縫い方はかがり縫い(背)、半返し縫い(脇)、千鳥ぐけ・まつりぐけ(裾)。
 - ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
 - ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
 - ・肩に紺の木綿布をあてている。
 - ・覆輪は紺の木綿布を衿下につけている。
 - ・身頃(肩、胸部分)に刺し糸、つぎあてをして修繕、補強をしている。
 - ・身頃の裾部分が破損している。
 - ・身丈77.3、ゆき59.0、袖幅33.0、袖口14.0、袖丈43.5、身頃幅26.7cm。
 - ・重さ1022g。
- 29 ツツレ
三崎町平磯 (52)
- ・巻袖。袖の仕立ては裕。
 - ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。裏地は縞木綿。
 - ・経糸の材質は木綿、白色。
 - ・経糸の本数は1cm四方に8本、総数は約210本。
 - ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に3本、1段の幅2～3mm。
 - ・身頃は長年の使用からか、紺地の色が褪せて白くなっている。
 - ・裾の色は白。
 - ・馬のりがあいている。
 - ・縫い方は千鳥ぐけ(背)、半返し縫い(脇)、まつりぐけ(裾)。
 - ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
 - ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
 - ・肩に晒と紺の木綿布をあてている。
 - ・覆輪は紺の木綿布を衿下につけている。
 - ・袖や身頃(衿、肩、背、裾部分)に刺し糸、継ぎあてをして修繕、補強をしている。
 - ・身丈78.6、ゆき59.0、袖幅33.0、袖口14.2、袖丈43.0、身頃幅26.2cm。
 - ・重さ900g。
- 30 オリコ
三崎町三崎 (46)
- ・袖なし。
 - ・経糸の材質は木綿、白色。
 - ・経糸の本数は1cm四方に8～9本、総数は約156～176本。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1 cm四方に3～4本、1段の幅2～3 mm。
- ・身頃は織目が細かく、緋(紺、黒、白の断片)、藍染、白色の横縞模様。
- ・裾の色は純白で丈が長い。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、千鳥がけ(脇)、まつりぐけ(裾)。
- ・身頃の縫い糸は黒の木綿糸(背、脇)、白の木綿糸(裾)。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、黒の木綿布をかける。
- ・肩に紺の木綿布をあてる。
- ・覆輪は黒の木綿布を袖口、衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈69.0、脇あき38.5、身頃幅19.5cm。
- ・重さ506 g。

31 オリコ
三崎町明神 (35)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。
- ・経糸の材質は木綿、花色。
- ・経糸の本数は1 cm四方に7～8本、総数は約173～198本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1 cm四方に4～5本、1段の幅1～3 mm。
- ・身頃は織目が細かく、青藍、濃藍を基調とした色あい。
- ・裾の色は白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、千鳥がけ(脇)、くけて縁どり(裾)。
- ・身頃の縫い糸は黒の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に紺の木綿布をあてる。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下、裾、馬のりにつけている。
- ・左衿、左裾から馬のりにかけて破損している。
- ・身丈75.0、ゆき56.5、袖幅31.0、袖口14.0、袖丈40.0、身頃幅24.8cm。
- ・重さ802 g。

32 ツツレ
瀬戸町神崎 (51)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。身八口がある。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。裏地は緋木綿。
- ・袖に木綿の白糸で刺し子模様がある。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1 cm四方に7本、総数は約203本。
- ・緯糸の材質は裂いたモスリン、1 cm四方に3～4本、1段の幅2～4 mm。
- ・身頃は紫、桃、青、黄緑などのモスを用いカラフルな色あい。縦縞が入っている。
- ・裾の色は白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は突き合わせはぎ(背)、半返し縫い(脇)、三つ折りぐけ(裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

- ・肩あてなし。
- ・覆輪は白のモスリンを衿下につけている。
- ・身頃の裾あたりが破損している。
- ・身丈78.5、ゆき62.5、袖幅33.0、袖口16.0、袖丈44.0、身頃幅29.0cm。
- ・重さ748g。緯糸にモス材を使用しているため軽量である。

33 ツツレ/ニズリ
瀬戸町田部 (27)

- ・袖なし。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1cm四方に8～9本、総数は約184～207本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に3～4本、1段の幅2～4mm。
- ・左身頃は薄藤色、右身頃は赤、薄藤、江戸紫、退朱色を基調とした色あい。
- ・裾の色は純白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、半返し縫い(脇)、三つ折り縫い(裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、黒の木綿布をかける。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は黒の木綿布を衿下につけている。
- ・身丈63.6、脇あき36.7、身頃幅23.0cm。
- ・重さ632g。

34 ツツレ/ニズリ
瀬戸町田部 (28)

- ・袖なし。子ども用。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1cm四方に9本、総数は約183本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に4～5本、1段の幅1～3mm。
- ・身頃は織目が細かく、赤、退朱、生成、水浅葱色の横縞模様。
- ・裾の色は身頃に同じ。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、千鳥がけ(脇)、三つ折り縫い(裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸(背、裾)、灰、白の木綿糸(脇)。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、黒の木綿布をかける。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は黒の木綿布を袖口、衿下、背裾に、縞木綿の布を馬のりにつけている。
- ・身丈64.6、脇あき32.5、身頃幅20.3cm。
- ・重さ478g。

35 ツツレ
瀬戸町大久 (13)

- ・筒袖。袖の仕立ては単。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。袖口が破損している。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1cm四方に7本、総数は約194本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に3～4本、1段の幅2～5mm。
- ・身頃は紺、黒、赤紫、薄藤色などのまばらな横縞模様。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

- ・裾の色は純白。
- ・馬のりがあいていない。
- ・縫い方は突き合わせはぎ (背)、かがり縫い (脇)、まつりぐけ (裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下につけている。
- ・身丈73.0、ゆき59.5、袖幅31.0、袖口20.0、袖丈34.0、身頃幅27.8cm。
- ・重さ896 g。

36 ツツレ
瀬戸町大久 (14)

- ・巻袖。袖の仕立ては単。袖下を折っている。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1 cm四方に8本、総数は約184本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1 cm四方に3～4本、1段の幅1～3 mm。
- ・身頃は紺、黒、浅紫、御召茶色などのまばらな横縞模様。
- ・裾の色は白、一部に黄色の布の断片が見られる。
- ・馬のりがあいていない。
- ・縫い方は千鳥がけ (背)、千鳥がけ (脇)、まつりぐけ (裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下につけている。
- ・身丈69.1、ゆき57.5、袖幅33.3、袖口15.3、袖丈33.0、身頃幅23.0cm。
- ・重さ734 g。

37 ツツレ
瀬戸町大久 (15)

- ・巻袖。袖の仕立ては単。袖下を折っている。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1 cm四方に7本、総数は約158本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1 cm四方に3～4本、1段の幅2～4 mm。
- ・身頃は紺、黒色などのまばらな横縞模様。紺の白や蘇芳色の断片が見られる。
- ・裾の色は純白。
- ・馬のりがあいていない。
- ・縫い方は千鳥がけ (背)、千鳥がけ (脇)、まつりぐけ (裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下につけている。
- ・身丈72.2、ゆき58.0、袖幅32.6、袖口15.5、袖丈33.3、身頃幅22.7cm。
- ・重さ788 g。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

38 ツツレ

瀬戸町大久 (12)

- ・巻袖。袖の仕立ては単。
- ・袖の材質は紺木綿 (紺地に白、赤紫色の縞)。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1 cm四方に7本、総数は約178本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1 cm四方に3～4本、1段の幅2～4 mm。
- ・左身頃の裾にかけて経糸のつなぎ目がある。全体的に緯糸のつなぎ目が太い。
- ・身頃は紺と黒色を基調とした色あい。浅紫や紺の断片が一部に見られる。
- ・裾の色は白。
- ・馬のりがあいていない。
- ・縫い方は突き合わせはぎ (背)、かがり縫い (脇)、まつりぐけ (裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下につけている。
- ・身丈77.8、ゆき55.2、袖幅29.0、袖口18.0、袖丈41.3、身頃幅25.3cm。
- ・重さ824 g。

39 ツツレ

瀬戸町大久 (16)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。裏地は木綿の格子縞。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1 cm四方に8本、総数は約216本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1 cm四方に3～4本、1段の幅2～4 mm。
- ・身頃は紺、黒、赤紫色などのまばらな横縞模様。
- ・裾の色は白。
- ・馬のりがあいていない。
- ・縫い方は半返し縫い (背)、半返し縫い (脇)、三つ折りぐけ (裾)。
- ・縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。右衿の下半分が別布。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下から裾の一部につけている。
- ・身丈69.3、ゆき60.0、袖幅30.6、袖口15.2、袖丈42.2、身頃幅27.0cm。
- ・重さ940 g。

40 ツツレ

瀬戸町大久 (50)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1 cm四方に7～8本、総数は約205～234本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1 cm四方に3～4本、1段の幅1～4 mm。
- ・身頃は紺を基調とした色あい。水浅葱、青紫などの色布が一部に見られる。
- ・裾の色は白で丈が長い。
- ・馬のりがあいていない。
- ・縫い方はかがり縫い (背)、かがり縫い (脇)、まつりぐけ (裾)。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下から裾の一部につけている。
- ・身丈79.0、ゆき60.0、袖幅32.0、袖口15.5、袖丈44.0、身頃幅29.3cm。
- ・重さ940g。

41 ツツレ
瀬戸町大久 (11)

- ・巻袖。袖の仕立ては裕。袖下を折っている。
- ・袖の材質は紺木綿の無地、藍染め。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1cm四方に8～9本、総数は約200～224本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に3本、1段の幅2～4mm。
- ・身頃は黒と浅葱色の横縞模様。
- ・裾の色は純白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方はかがり縫い(背)、かがり縫い(脇)、三つ折り縫い・まつりぐけ(裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は紺の木綿布を衿下、馬のりにつけている。
- ・身丈79.5、ゆき59.2、袖幅33.4、袖口19.5、袖丈47.1、身頃幅24.9cm。
- ・重さ942g。

42 ツツレ/ニズリ
伊方町九町 (49)

- ・袖なし。
- ・経糸の材質は木綿、白色、購入したもの。
- ・経糸の本数は1cm四方に7～8本、総数は約161～184本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に4本、1段の幅1～2mm。
- ・身頃は織目が細かく、花色を基調とした色あい。
- ・裾の色は純白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、千鳥がけ(脇)、まつりぐけ(裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、薄紺の木綿布をかける。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は薄紺の木綿布を袖口、衿下から裾の一部につけている。
- ・衿の首まわりが破けて糸で修繕している。衿下の覆輪が傷んでいる。着古している。
- ・身丈72.0、脇あき38.0、身頃幅23.0cm。
- ・重さ598g。

43 ツツレ/ニズリ
伊方町九町 (2)

- ・袖なし。
- ・経糸の材質は木綿の細糸、白色。
- ・経糸の本数は1cm四方に8～9本、総数は176～198本。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布。1 cm四方に3～4本、1段の幅2～3 mm。
- ・身ごろは紺と黒を基調とした色あい。緋の赤や水浅葱の断片が一部に見られる。
- ・裾の色は純白。一部に汚れ、毛羽が付着している。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ (背)、三つ折りぐけ・千鳥がけ (裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・脇に緋木綿のマチをつけている。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩に縞の木綿布をあてる。
- ・覆輪は紺の木綿布を袖口、衿下に、白の木綿布を馬のりにつけている。
- ・身丈71.0、脇あき36.2、身頃幅22.1 cm。
- ・重さ672 g。

44 ツツレ/ニズリ
伊方町九町 (3)

- ・袖なし。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1 cm四方に7本、総数は約160本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布。1 cm四方に3～4本、1段の幅2～3 mm。
- ・身頃は水浅葱 (前)、紺 (背) を基調とした色あい。汚れあり。
- ・裾の色は純白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ (背)、千鳥がけ (脇)、まつりぐけ (裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は紺の木綿布を袖口、衿下から裾の一部につけている。
- ・身丈72.6、脇あき36.7、身頃幅22.8 cm。
- ・重さ740 g。

45 ツツレ/ニズリ
伊方町九町 (1)

- ・袖なし。
- ・経糸の材質は木綿の太糸、白色。
- ・経糸の本数は1 cm四方に7～8本、総数は約154～176本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布。1 cm四方に3本、1段の幅2～4 mm。
- ・身頃は白の経糸と緋の白地によって全体的に白く、緋の赤や緑の断片がわずかに見られる。
- ・身頃に白の縦縞が入っている。
- ・裾の色は純白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ (背)、千鳥がけ (脇)、三つ折りぐけ (裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。衿芯がはみ出ている。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は紺の木綿布を袖口、衿下から裾の一部につけている。

図版番号 名称
使用地 (資料番号)

形態・材質

- ・身丈71.6、脇あき39.8、身頃幅22.0cm。
- ・重さ646g。

46 ツツレ／ニズリ
伊方町九町 (4)

- ・袖なし。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1cm四方に8本、総数は約168本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布。1cm四方に3～4本、1段の幅2～4mm。
- ・身頃は黒を基調とした色あい。白の縦縞が入っている。
- ・裾の色は白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、千鳥がけ(脇)、まつりぐけ(裾)。
- ・身頃の縫い糸は黒の木綿糸(背、脇)、白の木綿糸(裾)。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、黒の木綿布をかける。
- ・肩に紺の木綿布をあてる。
- ・覆輪は紺の木綿布を袖口、衿下につけている。
- ・身丈73.6、脇あき38.4、身頃幅21.0cm。
- ・重さ626g。

47 ツツレ／ニズリ
伊方町九町 (5)

- ・袖なし。
- ・経糸の材質は木綿、白色。
- ・経糸の本数は1cm四方に7～8本、総数は約150～172本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布。1cm四方に4～5本、1段の幅1～3mm。
- ・身頃は黒と紺を基調とした色あい。白の縦縞が入っている。
- ・裾の色は純白。
- ・馬のりがあいている。
- ・縫い方は千鳥がけ(背)、千鳥がけ(脇)、三つ折りぐけ(裾)。
- ・身頃の縫い糸は白の木綿糸。
- ・衿はかけ衿。身頃を内側に少し折って、紺の木綿布をかける。
- ・肩あてなし。
- ・覆輪は、紺の木綿布を袖口、衿下から裾の一部につけている。
- ・身丈69.5、脇あき36.5、身頃幅21.4cm。
- ・重さ570g。

52 ツツレ
伊方町川永田 (45)

- ・仕立て途中の裂織りの反物。身頃を背縫いし、衿の部分を裁断している。
- ・経糸の材質は木綿、白、渋紙色。柿渋で染めたものか。
- ・経糸の本数は1cm四方に7～8本、総数は約149～170本。
- ・緯糸の材質は裂いた古木綿布、1cm四方に2～3本、1段の幅3～5mm。
- ・身頃は織目が粗く、茶褐色の色あい。縦縞が入っている。
- ・裾の色は身頃と同じ。
- ・身丈82.5、肩幅22.0、身頃幅21.3cm。
- ・重さ514g。